ケイマフリの保護と活用

成功した理由と今後の課題

ケイマフリの生息が危機的な状況に!

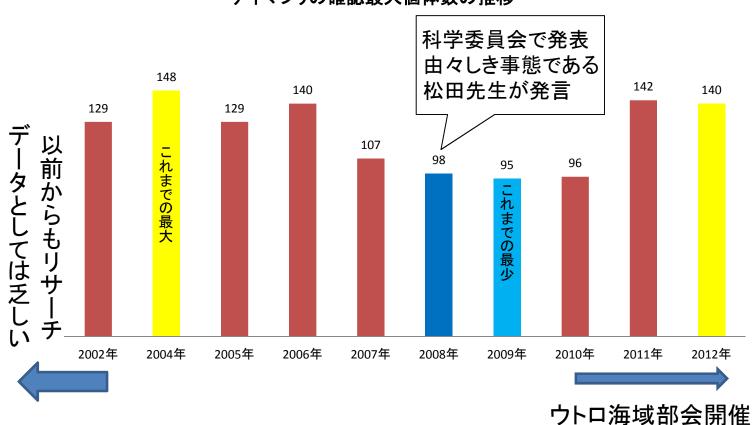
世界遺産指定前後から高速で航行する観光クルーザーが増える



ケイマフリの最大個体数の推移と出来事

歴史的一歩! 起死回生の一言が!

ケイマフリの確認最大個体数の推移



ウトロ海域部会開催

知床国立公園ウトロ海域における海鳥の保護と持続可能な海域利用検討会

ケイマフリの保護を訴えるが業者に反発される。

なんで、ケイマフリを守らなければいけない!我々も商売である。などの意見も出る。

反発されながらも、何度も話し合いを続ける。

ケイマフリは世界的にも貴重な種 世界でも容易に見られるのは知床のウトロ周辺だけ

保護を前面にださず、利用やその価値を強調する。

好転機が訪れる

反発から協調へ

「そんな貴重な鳥だとは知らなかった」

観光船業者にも貴重な鳥としての共通認識が生まれる。

ケイマフリも資源であるがケイマフリを調査している人も資源である。認識の変化。 我々の商売を邪魔する奴から ガイドのネタとなる。





グッズ(てぬぐい)の販売

観光船にケイマフリのデコイを設置

知床スタイルの確立へ

海鳥の保護と利用の先駆的な事例として

モチベーションの維持

世界自然遺産

知床の 価値が高まる 地域の活性化

頑張ってるんだな~

調査して いる様子

ケイマフリ デコイ

まだ飛立ったばかり

海鳥調査データ 海上分布 観察された種 繁殖の状況など 新鮮な情報

直接的な

ーポレ

観光船へ情報提供 ルート&スピードの考慮 情報をビジターに伝える。

ブログ YouTube

Facebook

・ムページ上でもリンク

ビジターに事前 情報

展现技术,人物人工物

調査者による

情報をリスペクトする体制を作る

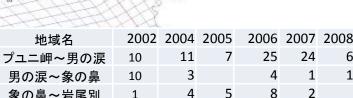
調査を継続して行く必要がある。

2004年ケイマフリ営巣分布 知床五湖の断崖(トークシモイ)デコイ設置地点では、

2004年7巣で2012年1巣と現在も営巣地は回復していない。 今後も調査の継続と営巣地回復への対策が必要である。



2012年ケイマフリ営巣分布



62N	男の涙~象の鼻	10	3		4	1	1	1	3	6	4
N N	象の鼻~岩尾別	1	4	5	8	2		1	1	0	1
21	岩尾別台地 I		12	2	4	7	8	4	6	5	8
\$ -3 \$9 F D ST B	岩尾別台地Ⅱ		1		2	2	4	3	2	9	11
Q22N	トークシモイ	3	7		3	1		1	0	1	1
プュー畑に使る傾向	Total	24	38	14	46	37	19	35	21	44	46
プユニ岬に偏る傾向											